

列島古代の交通や流通を分析し、人・モノ・情報が
集中する都城のシステムと古代社会を解明

日本古代の とじょう 都城と交通

中村太一 著

(北海道教育大学釧路校教授・博士)

2020年10月15日刊行 定価(本体9,800円+税)

A5判・上製・カバー装・704頁 ISBN978-4-8406-2241-7 C3021 ¥9800E

第Ⅰ部 条坊制と条里制

藤原京の具体的な条坊地割の復原〔1・2章〕、条里と計画道路の関係、平城京条坊とその周辺の条里地割の先後関係を再検討〔3・4章〕。古代官営市の最終形になる平安京東西市の空間構造を具体的に復原〔5章〕。

第Ⅱ部 駅伝制と計画道路

大化前代、倭王権が各地に派遣したミコトモチの交通にはじまり、7世紀における駅伝制の成立過程、8世紀から9世紀に至る駅伝馬制度の変化、律令制下から平安期の11世紀に至る制度の変遷まで、古代の交通制度を通時代的に論究〔6-8章〕。

上つ道の復原や7世紀代の初期計画道路等の設計規格〔9章〕、街路樹・チマタ・ランドマークで造られる駅路の景観、税の輸送に駆り出された庶民の心性〔10章〕、東北地方における駅路体系の変遷にも言及〔11章〕。

第Ⅲ部 水上交通と流通経済

「大化前代」の播磨、出羽・美作などの内陸地域、淀川水系のいかだ浮運漕等の事例から河川交通を分析〔12章〕。遣唐使が用いた「南路」ルートを具体的に検討し、隋煬帝の大運河の痕跡を日本の地球観測衛星データによって追究〔13章〕。

交易活動の動機・目的に注目して、その実態・類型を抽出するとともに、交易者と市を中心とした「多元的／重層的取引圏モデル」を提起〔14-15章〕。また貢進主体などを墨書し、国印を押して国家に貢納された絹等を「墨書押印貢進物」としたうえで、本質的な機能が貨幣だった点を指摘〔16章〕。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

【本書の特長】

① **イラストでわかりやすく** 150点にのぼるイラスト・地図などの図表で、都城や条里・市の復原、道路の変遷や船の操作方法などをわかりやすく図示。

② **新しい研究手法を積極的に導入** 電子地図を用いた国土座標値の計測やネットワーク分析、人工衛星観測データの活用など、新しい手法を駆使。古代社会の実像解明に迫る。

【目次】

序 一列島古代の社会・国家と隔地間交通一

第Ⅰ部 条坊制と条里制

- 第1章 藤原京と『周礼』王城プラン
- 第2章 藤原京の「条坊制」
- 第3章 大和国京南路西条里の諸問題
- 第4章 平城京条坊と大和国条里
- 第5章 平安京東西市の空間構造

第Ⅱ部 駅伝制と計画道路

- 第6章 伝馬制以前 —ミコトモチの交通—
- 第7章 駅伝制の成立過程 —国家形成期の都鄙間交通—
- 第8章 律令制下の駅伝制 —運用・改革と崩壊—
- 第9章 倭王権の道路整備 —初期計画道路形成史の再検討—
- 第10章 日本古代の道路と景観
- 第11章 奥羽における駅路体系とその変遷

第Ⅲ部 水上交通と流通経済

- 第12章 山国の河川交通
- 第13章 遣唐使の道 —大運河を中心に—
- 第14章 日本古代の交易者 —目的とその類型—
- 第15章 市と交易者 —交易圏モデルの再検討—
- 第16章 古代日本における墨書押印貢進物

巻末付図 日本古代の駅家と幹線道路

死刑の行われた市 (5章)

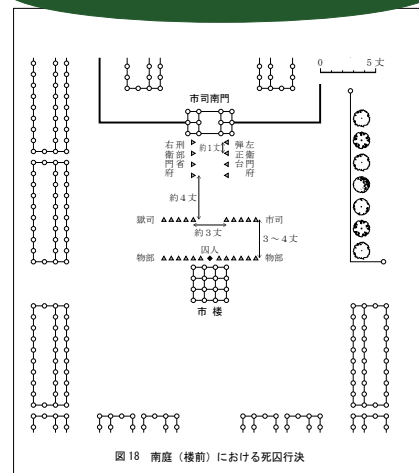


図18 南庭（樓前）における死囚行決

牛を動力とした連船 (想像図・12章)

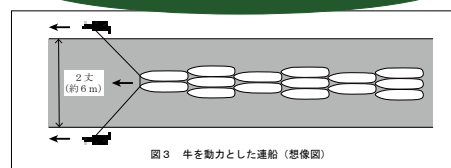


図3 牛を動力とした連船 (想像図)

人工衛星観測データを使った唐代運河の復原 (13章)



図10 永城市東南部における汴河の痕跡
(シーンID=ALAV2A111452920の一部を200%拡大。著作権：JAXA、配付：RESTEC.)

【予約受付中】 刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	中村太一著／八木書店刊		2020年10月15日刊行		取扱店 (番線印)
	日本古代の都城と交通		〔 〕冊		
	ISBN978-4-8406-2241-7 C3021 ¥9800E 定価 (本体 9,800円+税)				
	お名前 (ふりがな)		TEL		
ご住所 〒		FAX			
		E-MAIL			